

山田洲作すさく

## 井筒先生

星は尾を引いて光を置いていきます。

先生は私を知る中で唯一の超長文の書手でした。その論理は絶えることなく、飛躍することもなく、北極星のように、複雑な文脈の中で、読者に方位を教えてくださいました。

私は先生にあこがれて、読書の世界に踏み込んで、今は詩を書いていきます。

感謝は尽きることはありません、先生が翻訳したコーランと『意識と本質』は常に自分の目につくところに今でも置いてあります。

夜空を見上げると、星と見つめ合うように、今でも先生の文にふれるたび、私は先生を感じます。

あまたの星の名を教えてくださいました、井筒先生。

そして、その星たちは広大な星界の一部であることを教えてくださいました、井筒先生にこの詩を捧げます